

11月17日

テーマ：「最初の殉教者」

聖書箇所：使徒の働き7章54節～8章7節

◆今日のみことば

そして、ひざまずいて、大声でこう叫んだ。「主よ。この罪を彼らに負わせないでください。」こう言って、眠りについた。
使徒の働き7章60節

◆メッセージ

ステパノさんは、イエスさまを信じて、いつも神さまに従っている人でした。ある日、大勢の人の前でイエスさまのことをお話していました。ステパノさんのしていることが気に入らない人もいました。ステパノさんは、神さまのことを話したというだけで捕まえられました。ステパノさんは、神さまが昔からしてくださったすばらしいできごとを、話しました。しかし、それを聞いた人たちは、真っ赤になって怒りました。けれどもステパノさんは、静かに天を見上げて言いました。「ごらんください。天が開いてイエスさまが神さまの右に立っていらっしゃるのが見えます。」



みんなますます腹を立てて、いっせいにステパノさんのところに集まって来ました。そして、ステパノさんを町の外に追い出して、石を拾って投げつけたのです。

石をぶつけられる中で、ステパノさんは、「イエスさま」とお祈りしました。それから、ひざをついて、「イエスさま。この人たちをゆるしてあげてください」と言うと、息をひき取りました。ステパノさんは、自分にひどいことをする

人のためにお祈りしました。こうして、ステパノさんは、最初の殉教者となりました。

この出来事のあと、イエスさまを信じる人に対する迫害はどんどんひどくなり、イエスさまを信じる人たちは、いろいろなところに散らされました。しかし、たくさんの人にイエスさまのことが伝えられ、イエスさまを信じる人が増えていきました。

わたしたちは、もしかすると、イエスさまを信じていることで、悪口を言われたりすることがあるかもしれません。また、イエスさまが喜ばれることを行うことは、勇気がいることかもしれません。しかし、ステパノさんのように人々を恐れず、神さまを信じて歩むとき、神さまの助けがあります。また、おそれずにイエスさまのことを話したり、イエスさまの喜ばれることを行うことで、イエスさまのことを信じる人が増えていくことでしょう。



◆お祈り

「どんなときでも、神さまを信じて、人をおそれずにイエスさまの喜ばれることをおこなうことができるように助けてください。」

(大和郡山めぐみ教会伝道師 正村直子)